

大館市スポーツ賞

活躍と貢献たたえる

授賞式 個人と団体の203人を表彰

第55回大館市スポーツ賞の授賞式が17日、大館市有浦のプラザ杉の子で開かれ、全

県、全国大会などで優秀な成績を収めたり、競技の振興に尽くしたりした個人と14団体、総勢203人の功績をたたえた。

市スポーツ協会(青柳正隆会長)主催。スポーツの振興に貢献した人が対象の功労賞、全国規模の大会で優勝した選手が対象の栄光賞、東北大会優勝以上の優秀賞、県大会優勝以上の奨励賞などの区

分では毎年行っており、本年度は個人100人、14団体103人を選んだ。

式典には功労賞と栄光賞に輝いた16人のうち14人が出席した。

青柳会長は「今、子どもたちを取り巻くスポーツ環境が大きな変革の時を迎えようとしている。安心してスポーツを楽しむ環境を整えることは私たち大人の責任。受賞者の皆さまには、これまでの経験を生かし、地域の子どものために、今一度力を発揮

していただきたい」などとたたえ、一人一人に賞状と記念品を手渡した。

受賞者を代表し大館市のスキートの発展に尽力した藤田律子さん(66)＝長木川南＝が「全日本や県連盟スキー行事に関わるようになって30年余り。受賞は、これまで出会ってきた多くの人たちのおかげ。また家族の理解と協力があつたから続けられた。これからも大館市のスポーツ推進のために関わっていききたい」とお礼を述べた。

【主催者訂正】14日付3面の大館市スポーツ賞の記事で受賞者の欠落がありました。

【奨励賞】

▽水泳＝高橋諒、篠村天音、田畑陽菜、小松徠喜、成田輝星、小松海道、畠山真幸、小笠原佳音、山田日愛、木村



大館市スポーツ賞の受賞者(プラザ杉の子)